

2024 年度図書館員のリカレントプログラムのご案内

「地域に根ざした図書館における司書の役割」

本学では、図書館員の研修の場として「図書館員のリカレントプログラム」を 2004 年度から毎年実施しております。今年度は日本図書館協会が認定する「認定司書※」を取得した本学卒業生をお招きし、「地域に根ざした図書館における司書の役割」についてお話しいただきます。図書館は今、サードプレイスとして機能しようとしています。ここで言うサードプレイスとは、図書館を広い意味での公共の広場に見立てたもので、これからの図書館は住民にとって益々魅力的な憩いの場となっていくことでしょう。それに伴いそこで働く司書の役割も変わり、さらなる重要性を増すことになってくるものと思われます。これからの司書の役割・未来について一緒に話し合ってみませんか。

(※ 認定司書とは、日本図書館協会が司書の図書館における実務経験や実践的知識・技能を継続的に修得した者を評価し、各地域の図書館経営の中核を担う司書として認定するもので、認定の期間は 10 年です。)

講師：函館市立中央図書館 司書（児童担当） 宮本加奈美 氏（日本図書館協会認定司書 第 1224 号）
札幌市図書・情報館 司書 草階 彩香 氏（日本図書館協会認定司書 第 1102 号）
コーディネーター：
教授 河村 芳行 本学附属図書館長（博士（図書館情報学））

日時：令和 6 年 8 月 26 日（月） 13：00～16：00

会場：北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学 3 号館 333 講義室

所在地：札幌市北区北 22 条西 13 丁目

プログラム：

- I. 講演
- 講演 1. 児童の「生きる力」を育てるために図書館ができること
—児童に対する調べる学習支援（60 分） 宮本加奈美 氏
- 講演 2. 人に寄り添う図書館
～司書の挑戦と可能性～（60 分） 草階 彩香 氏
- 休憩 10 分-----

II. 座談会（50 分）

河村附属図書館長のレクチャー後、2 名の講師とともに司書の役割、その未来について、皆さんで語り合しましょう。

受講対象者：

令和 6 年 5 月末時点で、以下のどちらかの条件を満たしている方

- ①北海道武蔵女子短期大学の卒業生で、図書館での実務経験（常勤、非常勤にかかわらず）がある方
- ②司書の有資格者で、図書館での実務経験（常勤、非常勤にかかわらず）がある方

受講料：2,000 円（本学卒業生は 1,000 円） ※当日徴収いたします。

定員：30 名（申し込み順）

申込方法：右記 QR コードから入力（スマートフォン・タブレットで読込可）または
下記 URL から申し込みください。

URL：<https://forms.office.com/r/w1ZtWivvJw>

※ ご記入いただいた個人情報は本目的以外には使用いたしません。

申込締切日：令和 6 年 8 月 20 日（火）

※ お申し込みが定員を超えた場合は、おことわりすることがありますのでご了承ください。

お問い合わせ先：〒001-0022 札幌市北区北 22 条西 13 丁目 TEL&fax 011-726-9705（図書館直通）

Email toshokan@hmu.ac.jp

北海道武蔵女子大学・北海道武蔵女子短期大学附属図書館
「図書館員のリカレントプログラム」係

